

湯

幽明日記  
目

上海圖書館藏

八波 4  
1.034  
4



# 堅不許外見

幽明日記卷之四

文政八乙酉十月

台嶺西溪  
摩訶三毒

十日癸亥晴八真宅任如例魚山運城院入未公到十

初早相催初以之者連城院也宿番子慈光院俱也初以之者

直性嚴等片付云院夜半後學顯代回章未則報之大令

顯者未問引取次牙飯布施八役若弄料及配當受取都合銀

五十七枚七十七分 十一日甲子羊 銀五十五枚預于菊之朝食

八分三厘六十錢半 寺泉物在廳等之下行自丈再查見分進十枚薄銀二枚

為持下男令飯云直到于會行事先押諸佛帳而以銀食

應一計三菜有四種也八月廿九日京籠代合十五女  
七分五厘受取中壹通衣相勤至佛堂院入湯 十二日乙丑晴

至南支之右京之許借觀音云一卷至干皮二十  
清泉院圍其居而飯之時雨云自惠恩院被惠陽十三日丙寅

晴寒 自備前受取金一分拾五文云滄頂布施銀百六十二文一

分五厘金三分舞舞共也四十八文貨銀銀百六十二文一



二奴預干氣源... 十四日丁卯羊 常人未云中堂通夜

得噴... 以花布一湯皮三十贈... 蓋運城完莊記... 十

五日戊辰羊 大黑... 政所... 散萃... 梵音錫杖... 法... 上座自我

六日己巳青 奉... 明院... 西入... 所... 近... 屋... 至... 藤... 深... 至... 十

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上

早朝... 般山... 谷... 再... 師... 妙... 音... 院... 初... 問... 觀... 莊... 房... 命... 目... 住... 上



奉詔齋粥至午收納所三院集會也依境命一師自老分  
無內藥和融之催對馬相撲之午鐘等亦可為內齋不  
之事之日暮後會飢之雨降漫之至午止三十日青  
菊降之昨夜食買羽三重一正之飯里坊之雨止  
未雪以降早朝上山直至于意走院而早信飯院已之刻過亦  
至心慈道大師法集此任二十四日也  
奉送三社  
干妙音度云

辨相月

朔日甲申青 雪下一寸餘三院內再山仕二十口布施三百二十  
餘也披露危城院轉任于遺效院極樂坊蓮  
光院別教大僧都觀明院寶珠院別教大法印安禪之寶印  
房消帳也未月極那再勸齋初再寶珠院問者侍從  
命目泥木圖像會場妙音院也天台會出顯西方已心分再  
外切用三惑同斷十行內無作二種相昂如次五石之顯也分  
直外切用也會場佛乘院再師極樂坊 二日乙酉青 喜八  
助再蓮光院問者廣運房也云  
西又買菜廿四日再引上代能化勤再師初問觀程房命  
目相似隱轉也訪於四教師于淨土院自先月代大林師侍

真也淨門師以至頂格故云 三日丙戌青 十八日再引上也再  
伊勢治表能造蓮云 師代行步坊全了  
房初問大道命目理內各相會陽佛乘院食 四日丁亥  
也將妙音師而飯頃詰之日暮至行步坊飯 四日丁亥  
微雪 下山身干走并大林之常照房次至頃刻終格而後訪  
菊原之許中食之自又登山逢雪 五日戊子午 中後于實藏  
一十齋南夫坊天台會問者云云 六日己丑午 師山京清  
泉禪林師素達於上雨亭未及至于侍座 六日己丑午  
津國聖王師先在酒宴之扇笑京八  
未曉至于四條芝居場觀手抄 七日庚寅午 未明亦至  
依棧離之所不好手抄終直飯 七日庚寅午 于芝居云  
清泉師訪愛頭中並懷中物之戲顯云子之下刻象龍登  
伊賀越余掛合羽之日暮後終而飯云山飯院也明云  
八日辛卯午 後津西末寺之圓解院午簡末所兼賴遣粒  
油道具代實遣也本願再山仕云云 九日壬辰辰 二三日來水  
主中三小川三賴集冠住持各云雪消 九日壬辰辰 不承云  
中堂通衣代能化相節雨下十日癸巳午 昨夜雪下寸許中堂通衣相  
至手行支坊三刺髮云雨成雪云 十日癸巳午 萬云觀註房被賴淨土院助



十一日青 飯膳未買平亞昆布代三百文一信未  
妙音院  
十二日乙

午 飯喜天及通具贈  
飯院近暮  
十三日丙未而 佛瓜呂

十四日丁申半 自四教師問者命後未  
干妙音院 暮前故  
十五日戊酉青 二三日不

十六日己亥雨 中後安釋師  
入夜遊干四教院  
十七日庚子青 而故  
十八日辛丑霧雨 雷刻已前至

十九日 精義  
飯院  
二十日

二十一日 渡命  
廿二日 甲辰青  
廿三日 丙午

廿四日 日夕雪下  
廿五日 丙午

廿六日 丙午

廿七日 丙午

廿八日 丙午

廿九日 丙午

三十日 丙午

初一日 丙午

初二日 丙午

初三日 丙午

初四日 丙午

初五日 丙午

初六日 丙午

初七日 丙午

初八日 丙午

初九日 丙午

初十日 丙午

十一日 丙午

十二日 丙午

十三日 丙午

十四日 丙午

十五日 丙午



慈光院西三日 二十七日庚戌羊 借本屋借三月桂新話  
被劫于東都 前後編合十卷繪本  
新山科二卷 二十八日辛亥青 白真院 二十九日壬子雨 菊  
源受取金七兩二分 戴朱四多三分七厘五毛但合五百目也 至行支院  
中後空山高山 于雲林院 聽天狗之語一寸寄南支坊云入陽

極月

大

朔日癸丑雪 昨夜雪降二寸許院內再出仕二十口布施三百  
五十五文也披露大衆院附弟重玄房龍城

也來月會場初入重玄房再師實藏焉初問重玄房也  
金三分渡于全了公云同三兩渡于妙善師云放光師先二十

四日飯禁為土產被惠制筆入 二日甲寅暑寒 谷再師相勤  
一具自奉明房書簡來云 大進初尚倫

目別理隨錄也千善非云 慧聖七末 三日乙卯 前唐院法華  
服持卷金二兩三分戴相渡也令見相云 信安禪師不遇至干

日再師佛乘院問者友京 四月丙辰暑 錄了之許話云廣  
命目及流時作也云云 廣運公入奉公中堂通夜

運房一昨日喜八上積 五日丁巳青 相勤云 廣傳果四象云  
飯禁之由也 定心坊云

入夜至干 六日戊午雪 中堂通夜 廣運公奉公入夜  
淨土院云 全了公奉公今般御隱殿內佛

之由 七日己未青 中堂通夜相勤云 中後下山高干上里坊  
諸能化云寄妙音里坊云食而飯日深云

八日庚申平雨 至干御殿面放光師乃說谷諸役山不之事  
至干學頭代清算之日也利髮云一寸飯

一位來自竹浦觀音寺被惠納豆云及佛舍利持卷云大  
津本屋未及先日之本更借備本孝勇傳云入夜飯雪降

讀孝勇傳云 九日辛酉青 蓋二納豆贈于惠澄師惠恩院云  
御房事云 廣二寒中見舞云至干御殿云

買筆云全飯 十日壬戌羊 至干妙音里坊役割之定日也  
了公未夕食被 廣運公觀誼房下山日暮登

山云北谷內借利立相瀨云自又 十一日癸亥 昨夜清淨師  
至干日增院里坊 秘密再銀之事云 入奉公一至學

頭代云至干添賀院而及夫師借金五兩云及為申請學泉院  
配當金云有間違不受取云至干安祥里坊煩話而飯云遺干

密嚴院書簡云能 十二日甲子青 至干學頭代云廊云  
化遺南鏡一片云 佛子遊江札持事云

什金一分戴朱遺云 十三日乙丑青 引移干學頭什云賞云  
云入夜頃之而飯云 妙音里坊庭午伏石云

昨今也



令運干 十四日丙寅書 一位來名粒甲丹金百匹試一位黃

十五日丁卯 日暮利肉舖團用事小川 十六日戊辰 昨夜雪下

極干三院歲暮集會三院番割等寫入中飯一計二菜一酒二

看也。安藏之定以房將來用東 正法寺者則注量房書

簡持奉金二兩添奉不佛米里坊已待報之入一池湖奉付志也

而飯自坊云泉房入奉乃同至干遺教之里坊借十後忠孝卷取

自銀別四解院手書五金取拾兩奉源之自東台觀成院

但上田金秀持奉之云金二兩度干奉被贈海苔二十葉十七

日己巳青 大津水屋未返之日中更借鳥部山調絃五色櫻

惠菓 十八日庚午曇 依歲暮集會登山之明年院內役者

寄于山女禪院須治而下山雪下赤山左京之雪 十九日辛未

於干妙音院入林飯自坊之評量長奉成兩 二十日壬申青 貸干源

灣下 自寒去之每行房書未云 京都卑人書書未云至于學頭代 二十一日癸酉 金二十兩渡

繪本今調錄六卷未云 十一日 干實院

二十二日甲戌青 二十三日乙亥青 妙音院於戒心谷

押之其寔大林之 常照房借玉也 二十四日丙子青 芦浦之自大津平屋石曲傳十

下編十 二十五日丁丑青 學頭代請取日之中食然後所化衆

猶又取之金子二兩二分扁金八兩未外亦被惠金百匹云其外殘

兩之書在渡觀給房之扁之云二兩二分預備云云其外殘

銀等總預菊原之日之中諸事相 二十六日戊寅青 至于上里

化之諸拂雪少渡菊原之金六兩並書扁遺放院之金百足

後執行代商節盜賊能細之極而用心可有之由申奉之為前暮

被侵遺 二十七己卯曇 因備事之中後 二十八日庚辰曇 中後

至于淨土院銀五匁九分渡律師中堂通夜未一斗之代也 二十九日辛巳青 自淨土院借 三十日壬午平 憲順未付其金百

後淨土院移取之變取字頭代道具之妙音師一寸登山云

至于淨土院入沐浴之直度堂云

安上糸



文政九年戊戌年

正月

元旦日癸未雪

昨夜雪降五寸許未明起日課勤行

金闕花開帶綠烟天台雪積羨豐年

春到庭物萃千里不同時邑人奉報新年賀借問梅老物

身公遠壹緒方年賀

二日甲申青

仕再師行先坊役問緣了房三問一吾番問品也取籤得九十四番

與八年賀茗積持奉

四日丙戌青暖

門未賀中堂通密相勤未

五日丁亥雨

如例中後下山於下佛堂里坊刊髮

六日戊子辛

中食而取休

七日己丑青暖

介谷修正會如例年

八日庚

賞

祈禱之札遣柳泉

中後中堂通夜直下山

九日辛卯

自庚師飯

自庚師飯



佛拿里所訪揭千惠澄律師法語教刻云 十一日癸巳年 揭能化云  
又至佛里坊三樂齋表云 故自里坊云 十一日癸巳年 揭能化云  
直里坊密祖之像事云 全了房預善德院之号為吹聽一昨登山  
之由被惠表布一扇子云 中堂修正山仕云 筆八未買朱一  
挺什三忽也入夜 十二日甲午年 院內再山仕二十八口命目  
能化入表被宿云 十二日品新布施二百七十文  
來月初入入場竟城院初再不動院初問竟城院命目法華  
佛性也指于泉才天云 與師云 今年以後從閩東金五兩克  
檀那再布施相上云 依之並月布施後來十一貫之所為十二貫  
再加之三百之所為四百會場二十五家之所為三十日更四月七月  
為向問各其月加施五貫天亮都合二十八貫餘二貫積之也云 室  
持房石碑之事云 能化直下山也云 寄真于禪林院云 誦定云  
密祖之像可畫事云 直從土易見語之三任十  
山仕中堂修正而故云 一月十五日山仕書來云 十三日乙未年  
覺大師師運夜再山仕六之卷而院往東台尊師也一計二筆中食山  
直中堂修正山仕云 為修施餓鬼則德到水桶綠水賜骨尾血流  
肉也云 能化今曉 十四日丙申年 十四日再法華三時也朱一挺贈于  
山仕看任箱 十五日丁酉 終日中雨云 竟城院往關秋儀也云 大進查  
之數也云 十六日戊戌年 消云

十七日己亥年雲霞 昨觀註房引移于佛案 十八日庚子味  
谷舟三師相勤問者請量房論目事稱開悟會場相勤實  
林房分也中後山京直至御隱殿善德院之許為祝儀贈烟  
草入一具云 暑素領五條大門孫梨門孫年頭御禮相勤云 喜  
對馬屋敷申年賀云 自支直至三條并仁而宿入夜善住妙音  
師飯 十九日辛丑年 早朝趨于山科 御殿及坊官無年頭  
來云 相勤飯路青門孫年頭云 嵩干津國  
屋飯干拜屋云 子午師同也買抑行李寄其及土井喜  
兵衛之許放白菱屋者買白衣二箇代金二兩經五條橋而飯  
入洛云 廿日子當晴 至干一錯屋權無衛之許生之為原在彼  
賀直飯喫中飯飯干拜屋妙音師飯山下男使飯山云 至于津國  
屋云 三支師同遊四糸觀天戲場入夜而飯于三定定以二公分觀  
賦詩以不命意 二十一日丙午年 早朝趨于四糸觀北芝居子  
竟不亦山云 三支師瑞德師俱也義隆  
青隆等云 入夜飯寄于丹勘之許 二十二日甲辰年 飯山  
予招飯干津國屋喫食入洛云 十九日着之由三妙音師持系云  
行支坊妙音院入束於儀吉云 自東台泉龍院十一日山之書  
字屋及備前借財之事云 十九日着之由三妙音師持系云



二十三日乙巳青 二十四日再三師相勤問者廣運房命月七識

院宗英通向有之自今日又向開再之所依故障二客舍方

二十九日追送別也昨日自丹福寺十日山書自韻之詩

此宗陌人行絕絕月影 二十四日丙午青 和默公之韻

鐘走枕上到半夜客愁催 閣巷飲遊道

酒為先狂歌爛醉山豈要細然青山白水還魚報自是移居學市

仙。去赤山之正行來御供所祀之修覆之事云一寸遊于丈丈之許

二十五日丁未雪 昨夜雪下二寸許寒甚風雪野筋如賀未備

使未其由先日所差出置之覺林坊收納助定此之真書調印

無之故可認遣由而帳而被却依之如例認遣亦大藏師去八

月苑去付當時字由伊賀守坊官役被勤依之例年之煙管三

對彼方江可遣上日由未是亦右之通類遣云亦昆沙門溝四舍

目於圓山正阿拜可催之由內倉真田 二十六戊申青 昨夜雪

而人之簡未之度內再回亭事云 許之新老詩云書齋甘寂莫終且至于廣運公之許諱忍云

對錦花林上無香火芳馨方外嘉一次至頂始而形發散云

二十七日巳酉 雪小消云遊京師狂詩云長安市上異山中酒

有有有美童飲無浪岳思儘仕翼朝夢覺嘆囊

座。平生儉約為為燃今日遊京是惡錄飲無浪岳夢見見寒之

細布舞如喜。依旧遊京二月天為飯未去亦便三布施空尺唯

餘皆德。二十八日庚戌青 赤山大般若雲母寺後摩哥

相勤之登山 二十九日辛亥昧 昨夜雪下四寸許 向曉稍融云

自因列大雲院午簡集被惠釜屋海若云同當役一書未云自

辨列願王院被惠青海若云再後遊于行支坊頃始散云

三十日壬子 十七日再尺一寸至于降中院云

二月 小

朔日癸丑雪 院內再山仕二十五日布施三百十五文也來那再

會場五智院也云再尺山仕而下山一寸寄于菊原之許一訪于

皆如菴元萃王師頃語而般既暮正順未枯去四本入札持

條之云風疾便菊原 二日甲寅雪 自曉雪下八王子山枯木

調合葦二帖服之云 具分躡雪至于山真境

下於小谷回大宮後而雪積三寸許中食而登山亭于五智

院當燃火乃再尺云自於山福壽院年賀狀早被贈里三丁



深作淺  
親或交

三日乙卯青 自赤山正行使奉火燃于八急病死去之首屆也

日以前便在京大 中堂通夜作能化相勤之直再尺山之後而三

進始西谷居自魚後 四日丙辰字 山仕傳致再之於于彼雲齋

再尺後于白毫三光師 拜為嚴院拜慈惠大師之喜兵衛止宿之就畫事之

相勤至于現明院之慈惠大師之喜兵衛止宿之就畫事之

五日丁巳雪 再尺之雪頓下昨日以 六日戊午昨夜雪積五

師一寸入奉土井今晝後 七日己未羊 中堂通夜相勤而再

下山之再尺之本願再 尺之至于不勤而再

許備探也之筆 八日庚申景 本院真之仕命傷清泉

像之放生會之田 九日辛酉羊 院之再尺之再兒文殊之

在席之終 十日壬亥青 延命師來相俱下山之利髮而正于

若布施百文也 中食終將正順年昨之日雪折去巡見之日入

山樹而飯不至于惠恩發僧正之許而揭起順層正五十回忌之

云云正順先日拂木之代持奉直道至深之方之抑泉 八日大雪

未伏拜道節之 放支師入未指也仕之事之 下尔未不寒

十一日癸青 野行昂興云 郊外多行乘青烟散山忽聞

母子仕方帳之山上山一寸寄于三芝度 再再尺之明日後日休

再文句十二卷事之行也 妙音而師集果年錢放支師再進也

仕起立没利下。火燃与八。備前賴母子。雪折木入扎。伏拜通節。赤

山不勤舊情。等事也。登山口路。之。雪去同路。悠悠。之。任與行

課珠空教轉。暗烟浮。野春色十分。僧顯杖之雪深。跟石

詩句西之成。猶有新。野轉似。散。常。梅。經。雲。散。望。江。岑

若果常相與 十二月甲子而 赤山彼岸再之師代能化相勤也

放光師自今日山仕。之放生會 餘谷與中集集之善應院

山仕之法事如例之而止尚昂之 上山之顯山水画之萬里

江山百尺糕千級 異景筆端收扁舟野 十三日乙丑羊 自願

段如梅樽何事 幽然列渡頭云云 年始備奉一寸佛象後 正順拂木入扎持奉直報于西

板不用登屋清兵了事之佛画師 中西善之丞來之止宿之

十四日丙寅雪 善之亟画蓮乃下山之谷再五詔堂回向之再

送香凡堤上人行新 踏蒼水 顯中西姓画蓮之獨笑之

清健向晚晴 細腰魚力不勝 醒常同 越覽遊湖上 從不笑



蒼君小川持奈大幸止 十五日丁卯青 持齋... 正順自西坂飯遣拂木高札...

衣出意淨等用... 十六日戊辰快晴... 猶殘度潤輕凡陣之寒...

俱不如例行... 十七日再師法曼院代... 命目三或自斷會場...

未失鳴帶力方... 三先師所持實天下... 光師中... 還香...

谷角... 字... 喜... 切... 妙... 連... 等... 依... 御... 上... 昔... 四... 積...

二十日壬申青... 自東台能化方... 十一日山...

二十一日癸酉大晴... 入路... 妙音師入... 連京都修禪寺...

等去冬中生宿... 依之右止宿料... 御取上依... 昔取各... 四瓦師... 積... 二十日甲戌大書...

雪八分許消... 同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...

同各... 二十日甲戌大書... 同各... 積... 二十日甲戌大書...



向者係是房命月寂友有相也拜再入用八王子封作  
孔谷堂調印之執行回奉事信解院佛後佛免指僧  
正被作付名祝儀之事昨日回奉事東漸院今般御及被  
付付直覺院重御引移下其弗院等名祝儀快相廻  
事之土井善兵衛使者来地祇尊五續具持卷一筆一  
自明自至廿五日他處也東台長壽院本明房上山前  
夜着里坊今日奉山未定 二十三日乙亥青 伊勢屋右兵衛  
住流故為高院會客事

代一奴五方裝傳買毛拔一奴也中後下山一寸寄十三支院  
雷序也 弘早尾匠逢中詮各相伴訪三支師干厘坊乃三人月  
至于大覺寺一京師采松寺偶居于此故道高知采其蓋子乃至  
三支早坊中維公上山道常效案同寢寢事采松寺改至三買  
温鈍二人分不燒豆初 二十四日酉西子雨 三院再出仕二十七口  
漫書乱度而血入夜云 命月卷中合通布

施十四多八分命會場西路至于善存院之柳泉事神連  
破損物之丁道普請及王子山木十存許置度由之  
未遣妙音院金十西預積立再取立申度由願心一寸指白  
其毛師干厘坊山王祭所化像不似合之振舞律制可申  
訪永清淨師啟 二十五日丁丑青 久三未灸治之便切塔塔  
入夜久三未按釋

至于行老切昨日未之事之直上山院內 二十六日戊寅曇 本  
寄干妙音院渡所日之金子之其回奉事  
下山之常服房入来之再尺一自防 二十七日己卯曇 昨夜未  
列真光院年四書被惠致火箸 二十八日丙辰青 小川未買  
明房上山中後山七京報于愛岩之 二十九日丁巳青 持卷  
更推尊 二十九日丁巳青 十七未草席未去著猪併 勘定帳  
被惠之蓬篋一重完之再尺一 女方推干四教師一降入夜而啟

三月

朔日戊午青 院內再山仕二十四日布施六百十六文也来二  
十九日檀那再會場三光院命月之明立顯  
向問答也 訶於安禪師干淨土院 二日己未羊 左京慈眼再下  
之草席自京之山説入夜乃下山 念佛再回奉  
令持回之至于妙音院利髮之土井嘉兵衛来七祖之下画並東  
照宮御影持卷之再尺一已後妙音師一寸入来不在京之山



三日庚申雨 南鏡一片遺于土井 但画之具無筆也 土

京中堂通夜 一寸高不矣 藏坊五尺 塔路 四日

辛酉晝後青 傳效真山 江蘇師相勤 尚者大進 命目自

血再尺 五日壬戌青 画蓮 公再尺 云將 三之師云

本明代治 未八日之回奉谷 六日癸亥羊 息有社

行支切入塔 未八日之回奉谷 六日癸亥羊 息有社

代之代也 行支遺教 內竟極果 四日也 伊勢三昂 未子 妙音師

俱買救父布一疋 什五十二 叙也 公再尺 公再尺 三之師 琴寺寺而

飯招中 詮云 謝 著 麥 云 雨 降 云 弄 仙 其 而 無 云 七日甲子晴

小川身買子 孟 唐 味 陸 雜 畫 云 仙 藤 事 猶 云 之 事 云 七日甲子晴

雙領 燒 被 角 云 一寸 至于 行 支 師 云 許 云 本 明 房 山 京 云 云 宗 際

等 臺 山 再 尺 云 書 塔 塔 塔 云 昨日 自 惠 恩 院 金 二 兩 被 遺 丁

云 十七 於 京 都 八日乙丑青 洋定院僧正 韶 順 五 十 回 忌 相 勤

買 菜 具 未 云 谷 衆 供 養 云 山 上 云 法 類 分 相

於 習 禪 院 里 坊 亦 被 修 行 故 橫 川 里 方 法 類 與 趣 于 行 人 墓

參 安 禪 師 因 改 師 入 未 云 仙 屋 勝 兵 衛 未 遺 行 城 家 雜 律

兒 玉 式 部 工 註 量 房 猶 父 之 親 快 乃 於 金 二 兩 云 買 其 指 作

五 叙 八 分 也 云 系 原 報 于 雲 西 寺 是 分 於 普 諸 所 未 云 備 前

未 先 日 許 容 云 賴 母 子 云 九日丙寅青 密 效 命 錢 山 云 住 二十 一

未 十二 日 振 籤 定 由 申 未 口 會 場 遺 效 院 再

師 清 泉 院 向 者 侍 從 命 目 心 王 才 八 等 也 云 備 前 未 後 降

類 又 云 小 抄 押 也 云 由 告 未 云 柳 泉 未 云 自 系 原 金 三 兩 二 分

未 云 云 再 尺 買 云 十 日 丁 卯 青 廿 四 日 再 引 上 真 師 妙 音 院 尚

刺 髮 云 再 尺 云 終 直 未 三 之 師 可 養 云 未 昂 相 與 山 云 京 別 可

菴 干 路 至 津 國 屋 日 已 入 山 云 自 夫 報 干 可 養 云 未 昂 乃 師 小 路

妹 过 子 也 入 浴 雲 飯 十一日戊辰青 未 明 老 云 突 飯 日 竿 許

飲 醬 乃 至 就 眠 云 十一日戊辰青 未 明 老 云 突 飯 日 竿 許

塔路 四日

命目自

夜相勤

會場能

息有社

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴

七日甲子晴



土井喜兵衛許看弘敬所作歸辭申釣榮寺次至  
 寓于玄川鶴丸定不偏公概干近江屋高兵衛許  
 蘇屋素原下所也。可菴報他公中飯以後頃話至干丹林  
 寺月峯入許定以公申約迄至乃于某其清亮等相俱  
 報干身事幸用老亂漫面報喜一用耳聞途由的可  
 菴室系所彌子清亮遊干四山玄所路月機聽聲  
 亂乃飯干津周屋 十三日早雲微而庚午 訪孔觀女  
 己亥刻也。清泉師 蓋觀東列差山野也。豐世小子今年十歲能書音也  
 今覺世暫活旬觀今頃曾画蘭乃望之公至干山田治工衛  
 一伴乃見時計不遊四坐之間古耕者活乃至詣干初園社  
 及智恩院而飯干津風壘之公孫考庭撰在周公招孔奴堂  
 學考一十四辛未子 入堂以未至干今朝伍子三友師俱也  
 院已午時也。在京大庭遊干京之途于路之昨日從夏看社放  
 生一子一寸至妙音院之日暮放支師入未就未五月初再當  
 十七日真前題者如 十五日士申吉 放支師一寸入身就庚  
 初庵屆致賞度之事也 無動寺各云云申入者之事之礼拜再竹林院代當陸引受其  
 算少也。無之故。無觀寺各相頼修依接板致可之事。蓋自分

引受置支念致故也。礼拜再出仕各代之所化才子輩法事不  
 化便曾往來之節不作法之佛。修故於其各二右寺。美以後  
 致向敷採昨日托收納所。命者之。行支師入未去十一日  
 於谷内山修學寺。願山之中。修學寺之者神木。荒者之所  
 則高野村之人也。屆未云云取斗之始未。廣從之事。 十六日癸  
 然至。至。着。也。畫。彩色。之。蓮。二。枚。云。云。  
 酒吉 天白至再山。仕白。云。重。云。輪。加。裝。僕。連。立。時。集。食。堂。  
 午簡。未。一。寸。推。干。廣。運。云。云。但。從。先。月。中。 十七日甲戌  
 後。居。干。放。支。院。之。日。暮。在。京。大。庭。自。京。飯。山。  
 時。大。工。常。久。未。表。其。屋。美。農。師。持。条。代。南。錦。一。行。在。再。遣  
 相。但。 十八日乙亥年 谷再。師。代。行。支。師。相。勤。向。者  
 被。飯。 相。勤。之。自。赤。山。正。行。書。事。就。瀧。之。卒。之。御。幸。一。行。者。道。律  
 通。行。相。成。致。道。解。語。精。事。廿。三。日。迄。可。表。之。昨。日。奉。行。中  
 是。方。上。被。申。之。乃。可。致。右。通。者。申。遣。云。再。之。間。 十九日丙  
 再。之。山。仕。之。書。第。去。寺。所。稱。之。内。領。幸。雷。鳴。頓。也。  
 子。青 再。之。山。行。支。師。手。御。事。云。山。具。分。之。事。一。相。遣。之。  
 公。人。山。廻。方。凡。申。遣。云。再。席。乃。并。臺。之。用。意。從。







山自執行 二十九日丙戌 李壽慶明年新礼拜再執事也

取之日依谷梁參應有之為取持亦之壽期需與四時

十六卷之節也中堂通夜相勤之壽期需與四時

中西之使來宿之自而如處學額什之年簡之自之志院

年賀之使來宿之自而如處學額什之年簡之自之志院

二西一分但仙同節所奉誠金也 三十日丁亥春 院內

初集

朔日戊子早晴 中後下山至于收納所皮取金子入書

先之至頃活後而至于佛堂早而衣京已下乃三之

師至誠前守本主公可卷次之表入浴之預台缺山

我盛招諸賢之而丰廟也 持云今春此地自鳥群事咳

依日 依日 依日 依日 依日 依日 依日 依日 依日 依日

二日己丑晴 是明師廣運久入事乃自也穿于極果里坊

法曼軍坊親杜丹老乃五也仕急眼再肉再谷番也再

上山公為又少仕中堂通夜相勤於政所入浴和身而版

行走坊今日自京上山則行而之今朝十七來之至保

表之正順 三日庚寅雨 西山水云再久之東台佛堂院及

書之便藤吉 四日辛卯雨 下山之金二西渡于常久

之訪系執前守貨護法道治命之上山公寄本五公

五日十辰雨 轉回文事也 六日癸巳青 持齋之齋後訪

草書法要之寓干戒之鳥之符之申事之 七日

自觀成院密嚴從末書簡自澄定極月十九日朝天去之



甲午春 下山奉訪惠心院大僧正之病一自三日以來  
 不飲食之由命有且暮者至三芝院里  
 面三芝院中食之相但少一觀正觀別初了泉林  
 裁而不過至干權規解別書要若上山  
 手飯院中後可養被若見惠信一幸  
 執加之幸簡事去之自并屋被惠信  
 報干正實院街奔谷佛生會法今三味  
 多正順上之西坂之者如制事之山  
 及後隱殿之乃至不至并屋  
 守吾之頃之清水留者事乃三人相  
 別留者訪於大倉分三山一贈南一  
 乃別干教初之致干并屋之國并良  
 三芝師已下山之相同訪月峯有故  
 隱殿須於系干提并并殿仙洞街奉  
 抄于飯年隱殿自又報于飯舟院民  
 干福壽里坊之至于飯舟院三芝師  
 人相在諸干北野社教表表之前三  
 於干於別民神之勝殿一月夜偏指  
 觀孰法酒奇之亦買筍二幸一寸幸  
 皆一幸之飯干律國皇之如刑西長  
 寺止宿之  
 十日丁酉

至干阿觀一許贈也斤糖一箱  
 唐紙一幸一代五十二文也  
 乃令揮其隣家者事是以銀一兩贈  
 戊青 朝衣後飯山云云  
 九百九十九文也云云  
 昨日贈所親  
 三月十七卷初之中  
 聯勸卷之書  
 十三日甲子青  
 申山  
 十四日乙丑雨  
 前唐院法集行  
 已後觀法集行  
 乃遣小僧喜八令  
 及指加科治  
 欲不更  
 草原方



2

申遣七落去上山前下去喜八叔于京都為知親後者  
今日日改之日也入洛之親在房別後飯自昨日  
止觀者伊勢三弟其年我四言文  
買猪好糾五緒代兩一步買晒本常年及代  
認遣事台書始云 十六日丁卯年  
從能化手簡未云至  
行支方云真天云二

下山云一寸至三 十七日戊辰晝  
車照云廿九廿二十五  
命題初觀三拜

初真宇降後問者不勤後代龍珠院命陽極河出布  
施云寄于法曼院早切云於妙音院早切院內集云  
年寄後後云一人等願云一靈山院云云訪錄王  
院云云少兩降云少約言事云云以能化金膠買一買羅

紗云依置金一兩二人云云 十八日己巳  
命目入任時真問者

左京命傷相勤云再云云後一寸集云云下山寄云云收納所之  
之行支師至乃於公人申渡云云而故日暮報于妙音院里

五谷集命則演後先列於收納所所終云云依與後法云  
飲云正順未申後年寄後後和三日勤云云

十九日庚午年 眉術飯圓云云  
志盧山寺之刑部未被  
志志菓子一箱云云於于志因里坊具眉術

云姓御與藏之前觀後御下近年大出集 二十日辛  
三宮三丁降後之度之落云依與後附五平遣云

未屋年雨教下 拜殿入可也云云  
拜禮云云例技數入東各番集集  
拜禮云云例技數入東各番集集

十文酒 二十一日壬申年 拜禮云云  
拜禮云云例技數入東各番集集

折買小舟云云觀子放之妙看宝珠云云  
拜禮云云例技數入東各番集集

真子三宮也於若宮 二十二日癸酉年  
寺家宰相未被  
廟字亦傳惠云

別與粉散云云照神庭云 二十二日癸酉年  
寺家宰相未被  
廟字亦傳惠云

愛岩福壽院入未近日開東下向之由云云  
一昨日北谷惣代若志  
度善學院飯集也因今日為土產被惠菓子一箱午折二枚阻當

後之也從能化書抄集百兩云云  
善學院  
入集云云至干妙音院入活云云  
教于竟林坊云云至干草原云云  
許金子

返并云云遣能化午簡認托云云  
借入金云云而飯云云  
二十三日甲戌

中後云云遊于三支里坊云云  
觀注大進上山云云疾瘳云云

晴 上山寄于惠云里坊云云  
而善學師金子云云  
觀註云云亦

拂未露札申遣云云 二十四日乙亥年  
谷云云師相勤問  
者觀能房命月

日憲順金百也及入云







竟殊從借觀音云才二版 六日丁亥青 持亦也久鍾倉  
調洛依之妙音師今事云

未至再又後謁 七日戊子青 持亦也久訪金老師  
干律師云

日出六日切之書達云再又後下山 八日己丑半 三院再  
至第厚云及道林里坊

廿八口命目十界互具布施十二叙七方命場北谷也  
為寢命月至于正道院

坊曰竟書林西師是舞云今日從東台隱居師免之  
奉書相逢之申也依之奉十三日葬式之申也至于安

禪里切而推而大云 九日庚午重午 菊原奉云上  
及暮而既云持亦也

能化書未朔日出六日切也云再尺十九卷始云筆八未  
師大持師于降土從再教師先之至相治而解云一買雲云

四叙直排云東澄師便里云 十日辛卯大青 持亦也云  
被野詩二首云在京云

台能化云六日切也 棄遣雲寺之章智院書云△ 十一日壬  
二再尺云先日十川持條竹洞画橋二卷八叙五分云

辰暗持亦也自東台錄了房三十日出之書達云菊原奉  
張鳳十七回忌之丁云小川奉置芥子園画譜代世九叙

茂傳奉買蒼水代四方云再尺不自知則 四福寺書云在  
究返奉云至于夜先建奉慶堂云奉云利發云而下云

小止規 十二日癸己青 持亦也出仕太十願再會場三云院  
通畢

予助之而哭亦而飯云再尺云 十三日甲午青 午觀明師  
推干大部之序云及日暮昏云

正道里坊雷守云訪展濃守不逢云訪教前守聽巡鴻之語  
云奉云循五條至月竟里坊被化中食云山山仕南谷橫川三院

交叙之分也其式光明供導師正觀院前大僧正也云 十四日乙  
至于安禪院里坊休云乃上山山日沈山云

未青 仙乘密嚴之思身令願云四教律師云 十五  
○再尺云

日丙申青 赤山大般若若也下山云御影崩是方不遠之中高野  
取上山之中道持故云是方云連備前云

量廣運衣京等性觀今官所游所云上山 十六日丁酉味 持亦也  
子如音師上山己日暮也云雙衣京等

大進也云云 一住奉被志華云一桶云下山直至正覺堂  
書日塔塔了云小川奉云華儀奉云云坊窺云王再奉月云由云

明十七再之命目不知相也願云之先云 十七日戊戌青 大  
美德守至乃頂活月云云飯上單坊云







六月

朔日壬亥青 院內誦山之仕二十五口真師遺教院法

竟殊院命目四枚証據也 寄于空藏坊 二日癸亥

青 中西善之五事 諸祖聖像送入中後什二夜五

三日甲丑青 敬勝奉 買菓具 自勢列山福寺十八

正行 雷鳴 四日乙亥青 湖山有 再師妙音定內者

中後 終 諸干大師佛廟 揚干大師師 雷鳴而降

師一寸 五日丙申青 於中堂 借而大 殿若修也

六日丁辰雨瓦 每及後 至支聚坊 窺十七角命月

而散 七日戊己青 後修之 予行 諸天 極 日暮至

干雲 四 八日己午青 持齋 公 至于 竟 城院 一 位

雄銀一封 奉 自 菊 之 障 子 喜 八 山 京 公 為 貫 豪 僧

正德 意 九日庚未青 持齋 公 諸 于 慈 雄 之 墓 寄 于

百文于 麓山 無 了 房 某 公 大 林 律 加 地 清 某 十 日 午

申青 泉 目 山 之 泉 宿 于 律 因 焉 日 午 雷 鳴 大 雨 降

十一日壬酉青 觀 於 四 茶 芝 居 入 夜 于 大 慈 院

戌青 子 三 支 師 至 于 笠 山 許 頭 翁 主 至 于 十三日甲亥

晴 早 朝 于 十 午 三 支 師 散 於 路 別 于 午 師 之 解 院 下 刻 也

山 仕 家 政 奔 錢 命 賜 延 命 符 也 身 為 雷 鳴 微



△

和二十日真回章事  
命目新不傷正  
十四日乙子年  
淨名亂事  
檀蓮華  
釋多氣

△

日中雷鳴大雨風暫時止  
自觀成院  
於彼處  
看之  
人  
為  
乃  
不  
五月三日  
山  
特  
在  
吹  
聽  
書  
而  
三日  
前  
建  
妙  
音  
院  
由  
行

△

十五日丙丑青  
奉明房  
從  
京  
都  
上  
山  
大  
工  
長  
右  
工  
門  
事  
并  
慶  
入  
語  
室  
利  
頭  
而  
故  
雷  
鳴  
而  
下  
壇  
正  
多  
岩  
山  
福  
壽  
院  
昨  
日  
被  
奉  
道  
被  
破  
之  
由  
而  
上  
山  
危  
能  
代  
手  
書  
奉  
奉  
明  
壽  
之  
乃  
觀  
差  
房

△

可別取於  
十六日丁寅青  
福壽院被破  
奉明  
乃  
故  
院  
之  
變  
矣  
山  
屆  
谷  
回  
令  
任  
居  
于  
佛  
東

△

三  
支  
佛  
入  
奉  
進  
薄  
餅  
一  
寸  
至  
于  
善  
住  
里  
切  
公  
十七  
日  
戊  
辰  
青  
寫  
蓮  
東  
照  
再  
命  
場  
谷  
善  
也  
任  
二  
十  
八  
日

△

兵部  
之  
布  
施  
十  
一  
女  
四  
方  
也  
自  
備  
前  
被  
患  
而  
血  
之  
復  
誰  
易  
難  
于  
多  
釋  
院  
之  
訪  
奉  
之  
公  
仿  
教  
前  
片  
阿  
治  
子  
三  
支  
佛  
同  
上  
山  
十八日戊辰青  
自東台能化七日  
山  
六  
日  
切  
之  
善  
建  
自  
証  
院  
釋  
住  
修  
內  
沙

△

法有之  
依  
之  
山  
之  
府  
屈  
可  
致  
之  
至  
于  
行  
友  
坊  
之  
十八日  
再  
一  
師  
妙  
音  
院  
問  
者  
大  
進  
命  
目  
果  
頭  
無  
人  
也  
會  
場  
佛  
東  
院  
已  
待  
法

○

樂如  
例  
合  
行  
會  
場  
之  
自  
柳  
一  
看  
原  
上  
十九日己巳青  
再  
泉  
被  
患  
如  
子  
自  
大  
六  
益  
積  
山  
之  
○

○

本  
意  
師  
身  
干  
三  
支  
院  
之  
血  
下  
山  
至  
于  
收  
納  
所  
之  
面  
雙  
被  
患  
佛  
東  
院  
之  
府  
之  
由  
之  
日  
暮  
坊  
奉  
五  
支  
佛  
同  
上  
山  
二十日庚午青  
三  
院  
再  
之  
任  
二  
十  
七  
人  
布  
施  
十  
五  
支  
佛  
東  
院  
之  
府  
之  
由  
之  
日  
暮  
坊  
奉  
五  
支  
佛

○

尾  
之  
父  
之  
降  
之  
坊  
之  
聚  
坊  
僧  
正  
之  
至  
于  
志  
井  
陽  
祇  
之  
子  
御  
公  
圖  
甚  
一  
支  
佛  
東  
院  
之  
府  
之  
由  
之  
日  
暮  
坊  
奉  
五  
支  
佛  
同  
上  
山  
二十一日辛未青  
子  
中  
住  
之  
上  
山  
之  
再  
苦  
般  
不  
振  
下  
之  
二  
十  
一  
日  
辛  
未  
青  
尺  
之  
自  
北  
各  
被  
贈  
之

○

水  
仙  
孫  
中  
年  
中  
住  
公  
持  
大  
進  
病  
之  
證  
十  
本  
定  
○  
二十  
二  
日  
壬  
申  
青  
顯  
揚  
會  
之  
任  
再  
師  
行  
老  
坊  
什  
妙  
音  
院  
問  
者  
請  
量  
房  
命  
題  
序  
山  
聚  
信  
會  
傷  
放  
之  
後  
方  
妙  
音  
院  
也  
之  
自  
東  
台  
泉  
壽  
院  
十  
四  
日  
之  
書  
建  
之  
能  
化  
去  
十  
二  
日  
自  
證  
院  
轉  
住  
被  
作  
蒙  
之  
刺  
師  
雷  
守  
再  
三  
轉  
什  
工  
再  
建  
及  
學  
頭  
什  
海  
摩  
等  
也  
大  
進  
下  
山  
再  
奉  
書  
為  
持  
遣  
之  
事  
之  
自  
火  
再  
尺  
之  
至  
于  
廣  
運  
之  
乃  
持  
故  
利  
頭  
之  
奉  
明  
之  
然  
子  
八  
被  
患  
二十三日癸酉青  
谷  
之  
再  
之  
自  
案  
原  
之  
奉  
明  
之  
然  
子  
白  
血  
之  
中  
堂  
通  
夜  
相  
帶  
之  
通  
夜  
割  
改  
之



真天不為干... 開山大師大法師... 碣石之現... 二十四日屯戔

音... 谷... 二... 林... 日... 路... 而... 日... 芬... 二十七日... 謂... 師...

干... 中... 迪... 西... 至... 昨... 真... 辰... 朔... 院... 善... 護... 日... 雨...

院... 者... 會... 場... 院... 自... 禪... 夜... 而... 上... 相... 勤... 者...

孟秋... 子... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...

孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋... 孟... 秋...







後者一西收百姓火燃于八之六也 十二日壬辰軍

親親如例年事路中散錫杖 一昨日閱大師金剛經元畢云錄了多集之橫川大慈

院於原奉寶作新文能山之富札而支露乃亡命 錫杖也 十三日癸巳限訪於慈光師云中後雷鳴

贈砂糖一曲調具原 十四日甲午午雨 擲地餓鬼

調食等錄了未資不魚屋未買沙糖一斤三奴 七分也云中後而止法支始愈小五糸等如例

法支終進杜丹資西仇如例火燄于八奉多人之 願及十手水而舍等卑機外錫杖改封印之個

奉行所依之暫間為彼山雷守吾寺務自當山卑 中一人可移君之由自東台執行代等申未依之行

支坊法流之也而自四役者申來乃妙音院可什 齋之字等云外錫杖山之什云布施壹母具六百 十五日

八拾枚也其他既贈年云自正行使事云 乙未晴 下山到干榮源之許云山之仕滋賀院為施

法支如各施餓鬼終一計三茶席布施二奴也云至 榮源之許云至干習禪軍坊僧正寄于日僧

里坊于電械師坊云泉公于支井油 十六日丙申晴

乃上山訪三支師不違雲萃去云各 及五雜類云榮原於及尸院借三十金乃奧印云至于

行支坊度能化之券文云備前未公至救光院利 髮之日夕坊四收師借用意三日之相停止也云又云

雜錄云執行什回章未去平能登守死去自十五日 自同竟院回章未去 十七日丁酉晴 少納言未

八日僧正百日御未云 山之書日於辨別云抑泉之老母今朝死去院云至于

之由自榮源申未遺 觀泉房勢定書於去禪 妙音院 十八日戊戌晴 至同竟院海新云一計五茶

也大意院未會則知先日之風崗云矣 十九日己亥

至干同收院返本又借夢中肉卷云矣 晴 今朝常照房自京上山進朝飯云妙音師入未

帳云再及中大急贈于三光師云粟田內佛救乘房 下步止自金光師被惠衣囊入未今般由親文上死七

晴 今朝常照房自京上山進朝飯云妙音師入未

帳云再及中大急贈于三光師云粟田內佛救乘房

下步止自金光師被惠衣囊入未今般由親文上死七



忘中下宿寺故且廿日庚子年錄了房事七事干  
令住于佛學院云

自東都自証院十日癸六日切之書建但非先日返  
亥也佛學院什物一切可贈下由申事云云角文云野山

之僧密眼入年為使聘為今寄住于金光院  
學考頭路去云云京自十四日至今日絕鹽云  
二十一日

辛丑年 中堂通夜相勤直下山至于  
貨宗七為僕報于律南寺一寸高三走里

坊之面于行泉院頂活磨皮終直取之於  
至于上重坊個江戶下物至平裁前守之  
神頂路

又至奉厚之許脫有飯里切三才三編十二夜微  
批賦大津奉厚平借甲裁軍祀用云而下  
二十二日

壬寅 早朝上山下男尋查山禮于普門坊由云申之刻  
甲裁軍祀畢昨自如音師非角未住若而願下

二十三日 喜八使京云中堂通夜相勤云  
至于月竟院清泉院實書坊

留守中原寵發生入事之中至于佛學院  
京由云十人方路而致之地前尊自奉厚相上云

認江戶下書 二十四日 甲辰年 至于行光坊云秋地  
中後而下 藏再並實禮社由

行光坊山之仕无之賴田汝師為尊師之河喜多信  
農奉感得之命場當役之榮原上山云中堂夜相

勤之訪安釋師帝海師先之至頃治 二十五日 乙巳年  
刑髮而取之自昨夜平至慶大而留也

本并喜兵士未贈頭骨圖云云誹密致再七祖之像云四  
時過地震云云京為養生下山云下甲裁軍祀云再尺

為院內么人惣代正順本云等類之妻云 二十六日 丙  
午 遺書於直珠院告佛再之妻云云中堂通夜云

自江戶自証院十八日及簡 二十七日 丁未年 中堂通  
山之狀入夜相建云云

再尺云直儒再自今日子四子終讀由井根執行代  
開再也云至四夜流行光坊云云元安元云回章事

院內記家後圖 二十八日 申年 微而 妙音云秀治昂  
竟院之被作付云

先日報書云再尺云云在中在云一寸高一寸印之許云  
至于考光師之降彼師也頃後歡喜天之路油云云版

與 二十九日 酉時 包樟腦云中後月汝師入奉貨云  
空隨筆 與至于行支坊望茶奉



明公先之君云泉公改至云  
大道香山云

八月 大

朔日庚戌晴 院內再出仕二十六口布施五百七十

珠入海也自寶珠院錢送云云公人願書披露云放光院

上山色衣御免之由被申云大進下山云記家目錄

鍵等渡于月福院云再云云抗南各借銀壹貫目録

賴加仰干為老師但能化入用方也云抗遺放師多取

來自妙音師手簡 二日辛亥晴 銀壹貫目下案

來赤山正行之夏云 三日壬子晴 沐浴云老京下

再休云一寸至干行支云 四日癸丑晴 沐浴云老京下

在京上山云奉明房事云 五日甲寅晴 中堂風于諸尊開扉

玄房書事云源寤先生事進中食云 六日乙卯晴 中堂風于京師可菴公事

再欠云直儒再云聽放走德居律師云惡評云四日癸

丑晴 至干月收院利爾云再欠第廿五卷畢云奉三

冊返於正賞 五日甲寅晴 中堂風于諸尊開扉

院星宿云 六日乙卯晴 中堂風于京師可菴公事

食一汁二余一酒三者也云再欠云直至于中堂用履

不腰儒再至于安禪師云許頃倍而飯云少納言事云

奉明公事 六日乙卯晴 中堂風于京師可菴公事

及夜半飯云 七日丙辰晴 院後渡也故避限雜干

被患賴襄之書具云自東台西院書事 執行什回

高平仲仙道割增之夏云月收師入奉奉明公事

百正行書事云 七日丙辰晴 院後渡也故避限雜干

一寸至行支云 八日丁巳而 能化轉注

原宿方進物手相查云四日銀預奉原云至于岸之院

先之月收師至頂治時云日暮 八日丁巳而 祝儀進物

行支仿云京保美云 九日戊午晴 執行代回奉于就成宮遊去今日

中食而下云至于收納所出世後老分集會也其下

就建心院施法勝寺戒和尚云正觀院被願云

然西塔持法勝寺戒和尚云正觀院被願云

後至于奉立云之降相子坊萃王院入衣飯飯



讀朝日奈鳴 十日己未時上山昨自慈光院

向者密嚴院之書至云廿四再引上再師相勤

諸量公事十一日庚申而自遺教院午簡奉今日

酒而天 明日密教命錢回章披露也子八親類東

下先日之親書云雷王午伯著未被惠柳云行走坊

自京上山乃行面笑日未作二於云至于三支院笑之

次至弄孟真揮入夜而散云 十三日癸戌羊 初密

仕會場觀明院問者詳忍房再師觀明院命目一

願之支云演說云每前守入身三支師奉云改事不

明房自京飯山先日泉竟院到者云由 十四日甲亥

青 卅俗云前唐院出集法今觀法執行支師中仕也

此泉竟院云收著有云自禮院密嚴院執事西院云書

依之下筆海云詳云再云一寸 十五日乙子青 備前

報馬山乃託遣也音師書入夜後及書云云日午愛岩

三社師前箱云 十六日丙丑而 師靈山下山面干行光

上里坊以 十七日丁寅而 東照再山仕二十八日

新成显奉 布施十一多餘也 訪我妨行師觀物玉

入來被申入乾靈山院一件下向東台之旨云返云

擇原入夜泉竟院向曉 十八日戊卯而 相勤問者

錄了房命目隕賜不測會場行光坊也百正葉

再尺云六卷終云一寸至于角泉院云為土庄被贈金







量公許云行 二十九日乙亥晴 一寸至用收院云  
光下山云 後至于物持坊利發  
廿日暮蓮光院入奉 三十日己卯晴 三王執事奉  
送于行光坊因飾膳箱一新稠寄附云 爾尺以後  
蓮華電成右京同遊于成文等及身與下山日暮  
至于早尾山置去算 飯軍坊者而飯舟之民部定  
之矣印亦奉集乃 子電城師 五林之中將同 別于  
照炬上山宿玉林 院既夜年也云

九月

小

庚日庚辰晴 院內再山仕二十一口再師禪林院  
在京布施一貫九十四元蓮華院住職被露奉月  
會場因者蓮華院命自一生妙覺再師送命院也  
放生會回章持奉云 雙嚴院一作之夏云自東北西  
谷可被申老方中妻云昨日自為光院御園被贈  
云自菊原金壹兩一分奉 二日辛巳曇 代賃金  
報昨日書于為友院云 四兩于

萬光院云被招報于三光院殿再  
民部政至妙院於熱散毫入衣衣故 三日壬午年

紫多身朝奉中食後俱無再云云故 山效律師谷堂  
至手帳每民部云云再相遺云伊勢藤奉臣時訂

四日癸未年 朝下山雨片友師云自上單房西行之書  
王二百板十九千板毛龜一枚相遺云云 山正行便未午

五日甲申年 善玉院入奉金子五兩用立印奉原  
方工消息相託云執行代田章奉云

中後下山而行走師乃奉備丹條 報于收納所三院集命  
也北谷西塔康谷山境命之一件大佛金剛院跟原院云

仲人內濟取板相惹一件落着云因此相繼對其之書亦  
隱便之斗云之集也及夜半過大方議定或退也云

六日乙酉年 報收納所集卷昨日之與書成花押  
終退也時既七羊也上山云妙音師飯山

被宿云昨喜八云 七日丙戌春 拓唐運云託代妙音師暫  
父山某持奉云云 越于馬山云龜 性院入奉

貨銀三百七十五分云一寸至用收院廣運云之夏云  
紙藤奉買陽皮云自香兵黃稻步奉云中西善之夏云

紙藤奉買陽皮云自香兵黃稻步奉云中西善之夏云



宿公金一貨壽量為尺後三光竟城師可養全事八日丁亥

曇胤 中西下山公大雅畫幅十遺于京都因託買美津酒

師之今中後光正實里坊院內老分卑今有之由尋就

拜嚴院被殺退役度由云也賴于四發師以祈禱十日九日

戊子雨 五時素絹輪加沙將侵報于收納所三院之與

山仕次顯者山仕正再師登壇明散華三問一答也終

賜者上檀法則放生文壽量品回向也而天故於佛供所行之云買

座十六人報唐時教生會今年東谷非番也唐時法儀者

如他放生文壽量品回向也而天故於佛供所行之云買

菌之妙音叩入未招正順赤山薪之支公入夜子妙音而兼于

實持里坊披露執行代演說其所以今朝於收納所五

谷一人先被集而披露而各以論和玉落著之支因事台

勝手與之禮謝及提井攝之佛札去進物支也公昨日風呂

十日己丑而 備箭束赤山薪之支公招久三谷治云中後

上山一寸至壽量公許于明房今日山京為報故師

公入夜蘇旅因放院賴為谷內安金修于手大法

十一日庚子而 旅行光坊報夏三社之寶前一千卷心徑

中後押谷許客利并 雜物之印于賴母子仕方帳四十冊

次料物後者被渡于妙音院畢了房少京之妙音

山下 十二日辛卯青 訪同救律師之行光坊山京

山云 一寸寄竟律院庭高尺共八卷

終入夜高野村百姓團次即喜八下山里坊竹切入夜

四尋右工門山諦內所祝儀事云一花京于年供開闢云蓮

華院 十三日壬辰青 正行登山西月寺及川奈房

入事云 實附銀之支云及割木松

之度申渡云 湯地尊持云 勝兵工事買蠟及

干瓢似四百五十文掛道云 再尺云 三年室田丁

近江屋宇工流球更沙大帽敷團地持束買四枚

大花布二枚什金一兩也云 夕方遊于三光院

月十四日癸巳兩 柳音院上山廿四日拜引上再師

三藏也密嚴院竹管推年事云大工金藏 履云妙音

少京云 再尺云 伊勢三尋來柳敷團地仕云

十五日甲午羊 赤山大殿若云妙音師了云自京

飯事云 已後柳音師報于葛山



詩  
青埋  
改錄藏

公夏一什落着之由公今朝四收律師入求  
貨三衣并獲持之經之備前權其未日損之夏公 十六

日乙未雨 顯御廟御廟望山斜陽帶薄陰 青苔埋  
詔深每旋孫埃在東京 廣徑山之什公一再又公一寸旋一執行  
地又覺增血心 干許量公之符公虛徑公自具山版公什

回章 十七日丙申 雨 中後訪謂于惠澄律師師公十  
事公 喜八一寸下山買菜見公云

八日丁酉 暑 谷再二師相勤問者尤京命目三惑  
房初拜勸委少顯三身編法界也土井喜五街廣致  
七祖 夢影新調持条公再又後通夜勤之公如香

師自馬山被飯公白 十九日戊戌雨後晴 山王通回  
毫毫電城一寸入事公云

日面喜觀以也一寸至于同收師之許公鮑泉坊入  
未再又之丁公 再又公三光師入京可菴飯路公大工

今日限合 二十日己亥雨 至于妙香院利髮公至于行  
五日 履也 光坊 而昨夕飯山公自密

嚴院紙包未為自澄院隱居甚提院遺意被送  
羊帽子一公其外諸方屆物公再又後中查通

夜相勤行支坊公廿四日取習公訪蓮華院不遇  
為任職被侵贈神承二介公至于多光院入俗公

二十一日庚子晴 早朝中堂通夜相勤公將僕山公  
至于御隱殿而泉毫院公買白

雪簾公中食後訪友望山不遇訪竹洞于木屋界保  
君贈南銀一片公至于津國屋公指月峯贈南銀

一片 義實清亮贈南銀一片公暫  
時診症而飯公金二分備于泉毫院公

晴 日昇至寸之过子收學院里坊不遇自又之血 至案  
正寺中食公暫三光師至由約也自又高干愛崇

山徑 妙口寺清淨寺信齋寺 至于頂已日暮也指于  
幸社法樂終空福壽院 填之淨門院次至也亦由

物也 常照公守院公入夜至于手教 二十三日壬寅晴  
學院贈白雪糴公類公母子之支公

早朝 詣福壽院指于月軒寺公清福而飯寄場居堂  
買画指合九欠付十六分許也飯于津國屋公使僕取山

公中後 寺三光師報于月峯公許今日初年展觀之見也  
難離所 飯草穿而飯至于四年直場聽公昨之自自榮

物寺掛 二十四日癸卯雨 寺主光師訪于竹洞公賴道  
物返公 至于西公三光師方于院訪



竹三山先生之執制人吳善居在座修院動... 贈南簪一片  
贊之蓮... 畫師... 遺獨于崇正寺... 春... 中後  
世壽台之上山日昔者也  
自考山... 稱... 亦五日甲辰晴  
蕭化之... 三真... 本明公自故鄉... 飯山也  
下山宿上里... 少進... 拜於四圍... 飯... 二十六日乙巳  
山... 江山王真... 二十二口命... 目... 觀... 向... 各... 再... 師... 法... 曼  
院... 宗... 殊... 院... 向... 者... 萃... 齋... 院... 布... 施... 十... 三... 文... 目... 三... 分... 條... 命... 賜... 西  
塔... 也... 不... 飯... 里... 坊... 宗... 厚... 備... 前... 未... 云... 報... 惠... 心... 院... 地... 藏... 再... 命... 賜... 賜  
法... 用... 供... 俵... 長... 助... 兒... 囉... 累... 品... 也... 拜... 非... 時... 三... 級... 一... 寸... 高... 越... 前... 守...  
許... 云... 二十七日丙午晴  
早朝... 在... 京... 下... 山... 不... 伊... 維... 三... 序... 喪... 團... 掉  
上山... 入... 仕... 立... 持... 奈... 亦... 四... 十... 二... 爰... 也... 亦... 再... 又... 云  
寓... 于... 妙... 音... 院... 之... 十... 明... 公... 移... 任... 于... 彼... 云... 否... 之... 衰  
入... 夜... 觀... 明... 而... 入... 未... 宿... 坊... 之... 人... 併... 各... 命... 少... 仕... 無... 妨  
面... 于... 行... 支... 師... 之... 至... 于... 妙... 音... 院... 之... 文... 向... 再... 又  
結... 齋... 也... 不... 在... 京... 上... 山... 亦... 度... 水... 濟... 請... 成... 云  
行... 光... 坊... 賴... 母... 子... 儀... 押... 谷... 行... 之... 七... 九... 畧... 勤... 廟... 再  
也... 云... 在... 京... 于... 午... 大... 法... 開... 之... 佛... 名... 命... 少... 仕... 云

十月

朔日己酉晴 佛名命... 山... 紅... 觀... 明... 院... 清... 泉... 院... 白... 甚... 院... 護  
中... 前... 六... 百... 禮... 終... 中... 後... 山... 于... 再... 又... 云  
後... 例... 年... 暖... 氣... 不... 用... 足... 皮... 手... 爐... 云  
再... 又... 云... 昨... 入... 洛... 訪... 奉  
今日... 初... 長... 之... 諸... 公... 云... 三日... 辛... 亥... 晴  
如... 例... 昨... 日... 云... 再... 又... 云... 一... 寸... 取  
祭... 禮... 云... 一... 昨... 朔... 日... 四... 日... 壬... 子... 晴  
如... 例... 云... 云... 五日... 癸... 丑... 晴  
六... 日... 甲... 寅... 晴  
小... 食... 後... 飯... 院... 云... 昨  
禮... 畢... 云... 已... 後... 例... 時... 面... 向... 云... 六... 日... 甲... 寅... 晴  
大... 進... 上... 山... 云... 泉  
電... 院... 入... 未... 未... 十二... 日... 頃... 祭... 足... 下... 向... 云... 由... 也... 付... 之... 錄... 了... 房... 世... 活  
被... 賴... 余... 再... 三... 所... 之... 被... 強... 賴... 故... 不... 得... 止... 願... 託... 云... 亦... 金... 五... 十... 兩... 於  
谷... 表... 拜... 借... 教... 度... 由... 被... 申... 云... 行... 光... 坊... 只... 於... 京... 師... 被... 給... 申... 也  
其... 去... 又... 行... 支... 師... 上... 山... 無... 故... 不... 能... 無... 儀... 故... 乃... 于... 妙... 音... 師... 相... 託... 云  
必... 急... 無... 批... 入... 用... 午... 考... 雞... 延... 時... 日... 自... 云... 付... 西... 院... 了... 科... 云... 二十  
五... 金... 用... 之... 可... 申... 哉... 猶... 明... 月... 行... 支... 師... 上... 山... 云... 託... 云... 上... 可... 申  
以... 若... 云... 妻... 云... 再... 又... 云... 云... 于... 妙... 音... 院... 乘... 竟... 師... 既... 至... 云... 入... 衣  
山... 之... 京... 也... 訪... 行... 支... 坊... 于... 赤... 山... 可... 被... 致... 云... 金... 子... 者... 之... 答... 也  
本... 願... 云... 再... 回... 云... 考... 四... 日... 云... 可... 相... 觸... 之... 所... 佛... 名... 命... 少... 仕... 中... 而... 文  
念... 故... 云... 昨... 日... 余... 谷... 與... 工... 致... 入... 魂... 置... 今... 日... 於... 再... 又... 云... 席... 上... 回... 拜



相迎... 長谷川... 今零落... 余雷主... 七日乙卯

及夜又... 師于... 乞乞... 八日丙辰青

九日丁巳青... 畫蓮... 院手... 渡公乃

川... 自行... 子乃... 一日巳未晴

是... 備... 本... 日暮... 東大寺

院... 學... 布... 布... 十五日

布... 布... 十五日... 十五日

入江

入江

0

0







去野  
河下原  
取

住居干佛贈書去 二十四日壬申 昨夜遊干佛量公  
乘里坊云釋院云 許近暖候公向暖  
西下各名真初再慶運集向者揚了房命日晁量法  
空也今曉室刻西效寺中德余防世史健史之由自行  
老師申事公度運公修了同下山便揚了房干西效方  
子後者訪非常不谷也也 將廣屋房至干次初所  
觀者坊願書之老押公至于佛里坊僧尼食之自東  
台養壽院手簡表題產房表之也 備前至山午采  
排相傷之信自五厘公刊 二十五日癸酉吉 自慶岩山效  
入夜後慶而山上山云 慶 學院手簡表  
至于四效院入浴之奉明公未括入夜 二十六日甲戌曇 閣院最  
招帝量公入茶度衣及夜早 伊辨治未地仙借器公  
凡不認三院利銀蓋武 二十七日乙亥晴 小川未全置東人  
伊辨治未地仙借器公 持話查下先生猴  
儀海世之潤亦家命 二十八日丙子羊 至于妙音院初看  
七福神利生記等云 雪片之云京師山岩  
上通佛光寺下早田後屋在物惣兵衛者未昂先二日頃所  
末長各川某之百揚者也所以未者如六日危也長各川之  
後但老母耳右阿清今住河甲三乘上早下加茂社家後藤  
越前守者其錄者云以血力辭之令做之自筆厚書未和

田物太史二十一日辰未由 二十九日丁丑羊 智燈編師生  
乃能化之書持卷云云 命場相勤問者  
行先坊入陪其間有置札上撥頭去者云雲母寺之一如  
今慶屋上白然 樹梢指粉云殿而

十一月

朔日戊寅晴 霜如雪院內誦山之住二十七口誦師遺致院  
院布施五百七拾二文也披露金勝院亮考室積附券云  
泉房亮賢矣赦附券矣仲房亮通也奉月相那再  
初入會場初向云產房再師法慶院命目地上空  
假也云天台會之場遺致院順忍誦師蓮光院慶  
榮助齋本林院費道向者實藏之實印房也命目  
四信五品午前一三觀次弟親別四別見至等覺  
西方已心如次五人合山顯籤取西方已也會後相持條  
掘井飾殿飾願銀解願入之通相手了惠隆律師謝  
銀二十枚毛可三近侍者三枚毛可一正也一人賴  
之度谷之相分可斗了云秘密再自未年每生子西



度完一度法集布施如例一度命議而施紙四束等  
 義定之丁亥報干日僧說二再入用之諸道見各之隨  
 意買取亥亥之院已申刻也 二日己卯晴 廿四日孟引  
 昨市火事者竟賊師也 自行光師書東來自  
 院問者在京命目推乘下種也 今日報干入陽由  
 加地暗未買單代畫叙七分今 自行光師  
 至于如春院 三日庚辰晴 十八日再引上再行光坊  
 及夜年一級云 代奉明房向者 自行光坊  
 房命目明暗月時合場行光坊也 自行光坊  
 昨日伊勢治國直手纏手事不其妻傳未香持系下山  
 一寸訪金勝院干理性院 自行光坊大林師清淨師  
 失之在座之自 自行光坊 自行光坊  
 屆四日辛巳羊 一寸至佛里坊 自行光坊  
 喜八上山贈大師再少之米銀干遺效院 但在府之人俱六斗  
 也亦謂惠慶律師受效云云 在京喜八下山之買夜具一  
 枚代 廿五日壬午雨 菊原東下物之妻之自行光坊  
 未彼師止報入陽之執行代回章事 八日中堂未收納  
 之妻並園東師奉書附札之妻如列祀之能後來訛密祖

之外函不報干資材里坊於治云 六日癸未羊 質疑于惠慶師  
 級路一寸訪萃王師於終日而 蓮萃師終  
 院入未頃話後相共訪萃王師 蓮萃師終  
 買溫飽乃入夜飯借來繪本孝感傳十冊讀 七日甲申  
 曇 昨日自正順贈粟資乃以贈萃王院返孝感傳云 八日乙  
 和 西書 至于菊原之許利髮一寸寄于四牧師之許燕干  
 自視明師情金壹面壹分密祖師影科 九日丙戌青  
 奉納之方也 訪渴於惠慶律師多致云  
 自萃王院借大門口鏡鑿七卷讀 十日丁亥未  
 便久三排摩及及治云 今朝日山之神  
 訪萃蓮院干安禪里坊 坊裁前守頂格坊大林師不逢 十  
 訪唐淨師先之因牧師屋居頂治大林師治至頂治而飯  
 一日戊子吉 訪行光坊云 至于世尊寺智律師 贊安  
 日之各書之先日被再現音氣乃聽之云  
 暮行吟云 禪誦卷末 薄暮天 撮珠向步草 十二日己丑  
 廬也 推歌幽興 新特向忘却 佛各千幾遍  
 青 便喜八便京都買燭油度金一在 在京一寸上山  
 頭 昨夜前茶雪入牕几 樽寒見簾前日暖 移札倚



捕于...又風力推...聲戶鳴...獨坐...動...流水...訪...習...禪...僧...正...喜...  
廬在村家後竹...靜夜...德...聲...念...心...緣...境...西...方...子...已...心...色...心...  
射唯...唯...香...目...投...宜...十三日庚寅晴...  
至于...佛...里...坊...先...之...善...王...院...被...至...頂...治...入...洛...後...指...干...街...  
宮...而...飯...金...武...方...武...身...賜...壽...八...乃...九...月...迄...之...格...金...終...之...備...  
前...雷...母...香...地...入...夜...折...泉...未...括...泉...一...件...落...著...以...親...念...月...傾...山...後...  
押...副...書...持...案...額...也...三...日...閒...居...之...偏...之...次...蓮...華...院...入...未...於...夜...  
被...十四日...寺...印...晴...行...支...坊...入...未...故...以...獲...母...子...羊...屎...為...  
不定...招...萃...王...院...蓮...華...院...飲...公...入...夜...被...飯...公...十五日...士...  
夕...方...彙...序...事...公...中...後...因...致...律...師...入...事...公...  
辰...時...置...屋...未...使...替...表...公...報...于...御...別...堂...受...東...興...宮...日...所...作...  
於...予...悟...懷...不...快...因...欲...願...母...子...一...件...以...任...于...年...也...予...以...別...意...報...無...  
賴...無...麥...于...律...師...公...失...鳩...帶...刀...未...願...相...債...再...加...入...于...各...公...  
入...夜...至...于...道...林...早...坊...謝...公...大...六...未...十六日...公...已...畢...祭...社...之...飲...  
願...相...債...再...加...入...于...各...公... 寄于收納

所...饒...替...地...之...支...一...山...指...支...無...之...由...及...松...兼...一...件...之...始...未...緣...了...房...命...  
格...於...千...分...中...食...去...寄...于...併...華...早...坊...格...於...望...茶...飯...公...儀...持...案...公...  
夕...方...折...泉...未...自...東...台...泉...竟...院...八...日...山...書...建...公...十七日甲...  
雨...降...着...屆...月...也...榮...涼...未...公...羊...夜...雲...破...月...白...公...  
午...時...置...屋...未...限...公...中...後...上...山...訪...安...禪...師...借...心...入...夜...後...飯...公...  
寄...于...坊...青...十八日乙未青...天台會...出...任...向...再...題...者...但...二...十...  
院...利...慶...公...九...口...也...辰...上...刻...始...行...三...口...終...中...辰...  
賜...會...場...案...概...坊...行...入...洛...公...七...口...終...非...時...食...日...未...暮...公...予...自...  
問...者...十...五...口...目...也...命...後...九...時...前...公...自...不...動...院...回...文...表...明...年...  
前...八...論...役...者...未...十九日丙申晴...東...明...後...命...後...畢...飯...時...  
朔...日...迄...可...定...置...公...二十日丁酉雪鋪地...可...為...初...雪...也...觀...雲...母...恩...向...  
水...不...冰...二十日丁酉雪鋪地...可...為...初...雪...也...觀...雲...母...恩...向...  
天台會...回...章...令...持...回...公...中...堂...通...夜...相...勤...付...谷...通...日...數...寫...事...公...  
寄...于...坊...音...院...聽...天...台...會...之...師...正...覺...院...被...申...假...支...乃...近...未...  
院...內...再...並...三...院...再...食...座...不...靜...不...如...法...度...故...二十一...日...戊...戌...  
以...後...致...言...靜...可...然...也...公...在...京...報...西...洛...聽...用...  
青...因...收...納...下...山...一...寸...訪...行...老...坊...乃...報...于...收...納...所...馮...公...儀...師...  
觸...人...相...書...或...通...公...酒...役...人...御...債...附...願...和...三...郎...退...役...內...



願之夏之佛乘院轉任等 二十二日己亥羊 早朝登山  
 屆于執行代亦公啟自里坊  
 妙音院之行先坊妙音院未集押印許容前於賴母子  
 通帳之自靈山院書未放免院夏之我藤未買賜皮  
 相子等之自重 二十三日庚子羊暖 喜八茶具持登之  
 云房書未之 正行登山仕度亦云  
 龜屋立屋授頭六十枚持奉之自一如贈茶之四效師俗許不  
 一才入未之毫城院南集坊同道入未南集坊竹卷山志願之所  
 如意付賴母子 二十四日辛丑吉 天台會會揚山之仕合九口再  
 加入賴入之麥 師奉明房向者藤量房命  
 目之未歲當後妙音院赤山役者自方也之云前八再役者之其  
 外細茂之菊原登山山王芝掛本之自東嶽山泉電院中  
 六日少書屆廣運房看坊海奉書未之玄泉房石亭木一寸未  
 七時退會統之西塔尔前一心三規橫川之玄向三千 南東北要  
 如次色具三千三周定性次牙視別圓三或目休也之 二十五日  
 菊原下山之自正行贈茶羊斤于自隆院下山之  
 壬寅雪 金勝院一寸入未之招許量廣運之進中食之怡下  
 二方之菱傳買敗毒散十帖之下山遺能奉書之  
 收納所之壽四效師許之今日通之 後東台密  
 入夜正順未不動地之衣米請之 廿六日癸卯吉 嚴院十七

日出之書達之 蘇于收納之廣運之奉收彼所乃被獲師奉  
 書也 襲輪 聖師也 手札之可迴解雷守居執行代十也之執于彼  
 讀雪如間雨夜月五冊 二十七日甲辰雨 今日於圓山也阿彌  
 今今朝入浴之 為積之再之會也  
 仍行先妙音師先日之京之顯早梅之未至添宮深已 廿八  
 大工常八年賊賴未之看花滿開疑為今晚雪暗吐清香未  
 日乙巳青 雇大工半日之在京一寸登山 二十九日丙午 青正順帶  
 節蓮花師利曼頂信故  
 久保亮采之之中後坊大 三十日丁未青 上山寄于妙音  
 林師先之月效師至於坊大  
 院入夜入未被庚金五而之伊勢坊 伊墨並葛技之墨  
 之干妙音院之去之若併墨明日遠于 厩原院之

季子文

朔日戊申羊 院內再山之仕二十四日再師代十年院也  
 明年正月初入初問金勝院再師自  
 分也命目性念如斷惑也今日布施六百六十六又之再後  
 集會信例善先寺欲寄搭銀三母貝目許之為傳收逐眼  
 兩三再之中食料之久久保其采之吉文字屋之內之遺差  
 四之自車各請板金戴而密祖画科也之自菊原願



母子帳並菓子事... 大六事新... 二月二日己酉... 房問者評量房命... 下山報收納所... 場羊石付四十... 自多岩福壽院... 三月中... 前唐院... 將事... 菊原... 五日壬子青... 後轉于西... 折泉... 入未... 落北之由也...

院事... 佛具... 七日甲寅... 訪金勝善... 防先之清... 護命... 印羊... 金臺院... 銀之... 屋敷... 山... 沖水... 三光院... 贈金... 菓子... 已未... 十三日... 山科... 十四日...



酉晴 自泉竟院五日出六日切之書達八日歲暮集  
院內從者差引所不執行代回章東十六日十  
船事也 十五日壬戌雪 內借利銀 南集 十二  
日亥亥羊 福壽院入集貨金二十三兩 嘉光院入集  
遺三院各少銀等 十七日甲子青 雪消一寸 十八日  
干收納所云

乙丑青 田致師一寸入集 院內歲暮集會出登山  
林院也 妙音師寸京 十九日丙寅青 行光坊入集 中  
一寸至干道林坊云

者身會息 告古貨附之 院內秘念 真無 寺入相那  
京師甲人 二十日丁卯青 安禪師入集 今般信別善光  
書也持奉 寺被追于開山會也 任人  
中食麥以為亂律院不遇中食 輒遠由 二十一日戊  
斷申入度院內二相入之支云 因幅 云

辰羊 昨夜雪下四寸許 妙音師入集 昨夜羊飯  
簾之由 於東谷教授借銀 查買月云 院

內從者中後集會 之回又未 妙音師報之 買錄香  
至干妙音院入洛云 面善王院云 備前集 買案  
相 二十二日己巳青 妙音師集書極帳云 廿三日庚午

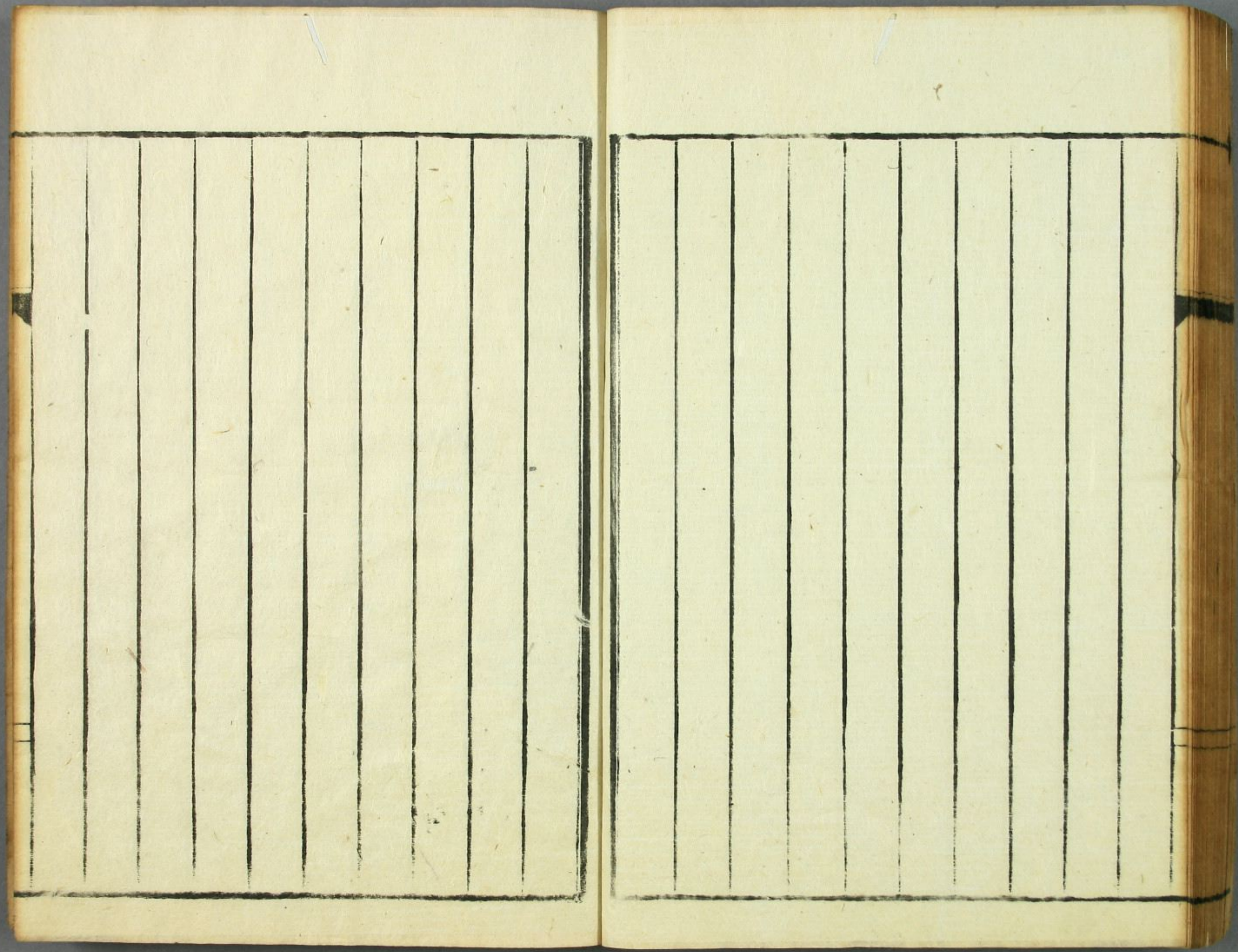
青 妙音師入集云 昨夜自園泉竟院十三日廿六日  
乃充手形遣云 今日於菊原之許 日夕 廿四日辛未  
春資云 自萃王師贈大坂湯皮九辛云 雨下

羊 備前自京飯 廿五日壬申青 自妙音師請取赤山  
諸般魚故 廿六日癸酉青 至于妙音師 寄于双嚴里坊  
諸般魚故 廿六日癸酉青 訪謁 惠恩層正云 備前集

產久三 廿七日甲戌青 邦張遺菜原云 許 二十八日乙  
便按摩云 林 福聚院飯京云

至青 一寸至干正覺里坊 賴嘉祖開眼之 坊四牧  
五福霧 萬物語 寺云 下男喜八後十日頃 稍亂心之  
樣子 昨今已成八分時 語在言 數加黑 是云 云  
二十九日丙子青 少納言利 鬢云 歲暮系社 賴







幽明之

易程子傳序。  
繫辭上傳集注



文政九丙戌年 三院簡次

四月去 貫豪 星之 豪觀 金剛 真應 竹林 深信

正觀 慈朕 正覺 嘉寧 支取 忍袖 習禪 韶榮

玉照 周山 日增 四阿 純持 德年 華樹 孝海

鷄足 光臻 孝禪 應俊 孝壽 賢道 惠日 寂印

正效 四如 八月下向 本道 考謀 妙行 美舟 大傍社 雙巖 通亮

行光 義宿 樹王 房禪 行宗 亮壽 九月中精住 法曼 真純

行泉 亮宗 泉實 玄定 佛宗 孝編 大月轉每 遺效 順忍

七月在執行代 亮音 田意 貫隆 極聖 昌範 蓮支 豪榮

道常 深祐 △位印推大仍 戒定 最禪 常智 明順 松林 貫道

蓮華院又

五月

大興也

八月放奉

金馬院入

看中注册

七月在職

宙象 慈照 理性 昌亨 金光 亮照 寶亦 寶真 三月下向

萃王 孝憲 安禪 純如 嚴王 慈寧 瑞雲 舜如

中正 亮賢 善學 儵德 玉林 貫道 十年 貞果

觀明 俊苗 △推大仍 田效 美等 大興 昌雄 放友 孝實

玉珠 編典 魚星 慈水 唯心 亮顯 延命 德融

德王 亮昌 禪林 實裕 白度 道洞 清泉 德法

南泉 慈編 密笑 常皓 觀樹 亮純 淨泉 昇順

大慈 孝祐 密笑 常皓 觀樹 亮純 淨泉 昇順

本行 孝海 大林 慈在 全基 亮純 淨泉 昇順

少知 言權 僧都 法眼 普真 一音 亮達 護心 韶隆

善住 靜全 等道 角忍 連城 孫應 觀泉 真傳

萃師 周信 妙音 淨原 長壽 淨成 大二 受宗

五智 是鎮 常照 幸淑 禪定 真緒 三友 秀流

瑞宏 考四 治部 應順 侍藏 亮純 孝實 三友 秀流

重玄 亮讓 亮誠 亮海 兵部 亮順 四入 最亮

大進 則賢 大率 亮常 明德 昭順 寶性 最亮

上幸 亮桓 中將 寶雅 民部 亮海 飲明 健祐

戒了 孫琳 侍從 亮耐 明齋 觀達 四成 亮孝



止々 八分  
二分 一分五分  
南古 二分五分  
新 二分  
生而 三分四分

○唐紙繪具下並所  
寺甲 二分五分  
吉野屋又四甲

△トウサ調合  
水一升 煮力一匁 明礬五ト 復少入  
中西法 煮力十匁 明礬八分

○芝明朱 二匁 極製 三匁二分  
細末×ウバニ 五匁

煮膠 百目 二匁五ト  
狸丹子 二十枚一束 二匁五分

画牋命 五十枚一車 八十九目

畫之具値付 極上之品ニテ一画ニ五

紺青 二画 三十目至 四匁五分 花紺青 十二匁至 二匁五分

郡青 十八匁 緑青 八匁五分

白緑 二匁 紅糟 六ト

長吉丹 十八匁 光明丹 十二匁

胡粉 廿四匁 黄雄 八分

靑靨 三匁五分 或二丁向一 雌黄 三匁五分

沙黄 一ト下 六ト位 代楮 一ト下 一匁五分

靑袋 二匁 紫土 二ト

五ト 青ヒツ 五ト ○



文政九丙戌後式

目大小

無篇

一讀大再讀小

○根本中堂修正會

晦朔二三日  
八九十一日

行支妙音 四五七九日 護心行支  
佛音 十二三四 廣運護心

○助加持正月廿日

護心  
妙音

○本願三丹春

護心 佛音 復  
佛音 護心  
佛音 行支

○秋廣運妙音

行支 廣運

○夜叉供

尊師 佛音  
神供 妙音  
○又殊捷

○大般若廿五日

西護心 妙音  
廣運

○大黑真

廣行  
○解名會

妙音

○傳教齋

正月東人天受生妙  
三月西自受用智

廣二月北四信五品緣在  
淨量丈 四月無三種四效

觀行

○五月南通教主

○慈眼真

正南三志勝於大部 二東二界坊減  
行觀 三北德身八相 佛音 法音

○四月西說五時放護

度 五月無佛果空不變  
妙音 友京 六月南緣了丈進

○流賀院行事

正月七日  
妙大

○八月西緣行

十九日序仙 二十日觀復 廿四日法妙  
二月廿三日廣緣 五月七日 在洋

○東照真 北向日七  
東名東方音

○佛生會

南行佛

○覺命速衣

護

○天皇真

南行佛

○御施儀久七月廿日

佛

○放生會

佛音 中堂大般若

正行妙

九月

○大真堂法

正行大二仙行三護佛 四月西切度五切妙  
六詳錄七護佛八法觀 九月西廣法十在度

八月

廿日通夜行法切  
廿三日月夕予行各前記

大州口說法切  
孝恩行十

孝恩社只

爪力推著竹 轉為流水声  
戸鳴 疑 香燈 揚空 旁用情

廣在村家後竹櫻隱 壬午月明 蕭素衣  
廣 蓮經 欲 山能持 常声 妙音

昨夜前山 雪入 櫻凡 轉  
○見 房家 日 暖 後 札 行

○禮備 儀美 落思 前

○攝 殊 向 安 竹 林 辺  
志 却 仙 名 為 通

推 鼓 出 與 祈 詩 就

廣 瑞

○秋滿 三橋上 初月也 變 垂 垂  
夫日 深 然 合 前 飯 帆 入 膳 所

忠信非寶 金玉以為寶  
仁美非德 米錢以為德

進 幕

野百金者 智勝于百人  
積千金者 感塵於千人

今十路民部之

三十一

安田伊賀守

四十一

山本大藏印  
吉田路民部之











